

社会福祉法人共通価値基準

1	保育所の理念、保育の基本方針が明文化され周知が図られているか		A	反省・感想など ◎年度初めに全体会を開き保護者へ説明を行っている。ホームページでも掲載している。 ◎理念や保育目標を実現するための事業計画となっている。 ◎取組が必要とされる内容については改善の取組を行っている。 ◎園内研修を通して職員全体で保育の質の向上にむけて共通理解を図るために組織的に行っているが、総合的に機能するためにはまだ努力が必要と思われる。
2	事業運営をとりまぐ環境と経営状況が的確に把握・分析されているか		A	
3	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めているか		A	
4	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されているか		A	
5	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されているか		A	
6	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解しているか		A	
7	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促しているか		A	
8	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能しているか		A	
9	評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		B	

10	施設表は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っているか	A	反省・感謝など
11	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているか	A	⑨保育の質を高めるための体制を構築し、研修の充実が図られたが、短時間研修の職員研修についても今後充実した研修が受けられるように努力をしていきたい。
12	保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮しているか	A	⑩一時期より事業について地域のニーズに添って受け入れをしている。
13	経営の改善や業務の履行性を高める取組に指導力を発揮しているか	A	
14	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されているか	A	
15	総合的な人事管理が行われているか	A	
16	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいるか	A	
17	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っているか	B	
18	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されているか	A	
19	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されているか	B	
20	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、継続的な取組をしているか	A	
21	運営の透明性を確保するための情報公開が行われているか	A	
22	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか	A	
23	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っているか	A	
24	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立しているか	A	
25	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われているか	A	
26	保育所が有する機能を地域に還元している。	A	
27	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われているか	A	

28	子どもを尊重した保育について共通の理解をもったための取組を行っているか	A	反省・改善点など
29	子どものプライバシー・保親等の権利擁護に配慮した保育が行われているか	A	⑨事故防止、安全について職員に周知徹底を図った。
30	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供しているか	A	⑩それぞれのマニュアルに沿った対応がなされている。
31	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすい説明しているか	A	⑪給食・給食等を逆して食に順じての保護者の進みを変更していきよう配慮している。
32	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っているか	A	⑫職員必読書に各種マニュアルを収めている。
33	利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っているか	A	⑬ようしており、朝礼や毎月のチーフ会や職員会等で話し合った内容についてクラス担任間で周知し情報共有されている。
34	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能しているか	A	
35	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知しているか	A	
36	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応しているか	A	
37	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されているか	A	
38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っているか	A	
39	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしているか	A	
40	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されているか	A	
41	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立しているか	A	
42	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定しているか	A	
43	定期的に指導計画の評価・見直しを行っているか	A	
44	子どもに関する保育の実施状況の配達が適切に行われ、職員間で共有化している。	A	
45	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A	

1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成しているか	A	反省・感想など
2	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているか	A	⑥散歩や園庭、園外保育等で戸外でしゃべりと体を動かし五感を促して遊んでいる。
3	一人ひとりの子どもを要望し、子どもの状態にに応じた保育を行っている。	A	⑦個別、食は保育士、給食室、家庭が連携して発達状態に合わせて対応ができているとされている。
4	子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っているか	A	⑧支援を必要とする子について職員会等で定期的に情報共有している。
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているか	A	⑨食物アレルギーのある子に対しての食事の提供は個別にできていると認む。保護者とも連携し定期的に保護の連携を行っている。
6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	⑩行居食、旬の食材を取り入れられた献立になっている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	⑪野菜の皮むきや下処理など食材に触れる機会をもつことができた。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
10	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
11	小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているか	A	
12	子どもの健康管理を適切に行っているか	A	
13	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映しているか	A	
14	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を要し適切な対応を行っているか	A	
15	食事を楽しむことができるよう工夫しているか	A	
16	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているか	A	

17	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		A	反省・改善点など ◎保護者との連携は携帯電話アプリ「キッズノート」で情報共有している。
18	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		A	
19	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		A	◎家族間の健康状態を相談室には観察記録としておこなっている。文部大臣を指導し実施してほしいと報告し保護者へも感染症流行情報を発信している。 ◎必要に応じて休学して治療を受ける。
20	保育士等が主体的に保育要綱の振り返り(自己評価)を行い、保育要綱の改善や専門性の向上に努めている。		A	